

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
TOEIC ワークショップI TOEIC Workshop I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
TOEIC Bridge ワークショップ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
加藤 遼子		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
国際的に認められているTOEICの出題形式や攻略法を知り、得点を伸ばすための英語力をつける。				
授業の目標				
①TOEICの出題傾向を知り、問題への着眼点を知ることができるようにする。 ②TOEIC頻出単語を頭に入れることで、余裕を持ち、問題を早く解くことができるようにする。 ③TOEICの得点を伸ばすだけでなく、基礎的な文法力も伸ばしていくことができるようにする。				
授業の方法				
TOEICを初めて受ける学生をターゲットに設定したTOEIC総合問題集を解く。各章の基礎的な文法事項の確認し、問題を解き、その後解説する。全6回TOEIC頻出単語テストを行い、語彙力の向上を図る。				
学習の成果（学習成果）				
①TOEICの模擬試験を複数行うことで時間配分ができるようになるだけでなく、苦手意識を軽減することができる。 ②頻出単語を覚えることで得点を伸ばすだけでなく、普段の英語力の向上もできる。 ③文法事項を基礎的な部分から見ていくことで、様々な問題に対応できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明・評価方法説明			
第2回目	第1回 TOEIC模擬試験、解説			
第3回目	Unit1 動詞・5文型① / 第1回単語テスト			
第4回目	Unit1 動詞・5文系②			
第5回目	Unit2 数量を尋ねる一名詞① / 第2回単語テスト			
第6回目	Unit2 数量を尋ねる一名詞②			

第7回目	第2回　TOEIC模擬試験	
第8回目	Unit3　命令・依頼—形容詞・副詞①　/　第3回単語テスト	
第9回目	Unit3　命令・依頼—形容詞・副詞②	
第10回目	Unit4　広告・宣伝—フレーズ・リーディング①　/　第4回単語テスト	
第11回目	Unit4　広告・宣伝—フレーズ・リーディング②	
第12回目	Unit5　時間を尋ねる—動名詞①　/　第5回単語テスト	
第13回目	公式TOEICテスト受験	
第14回目	Unit5　時間を尋ねる—動名詞②	
第15回目	Unit6　場所を尋ねる—to不定詞　/　第6回単語テスト	
事前・事後学習	TOEIC頻出単語に目を通しておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に意欲的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	各単語テストにおいて一定の点数を取っている。
試験	30%	各模擬試験において一定の点数を取っている。
発表内容（態度含む）		
その他	10%	第2回模擬試験結果
教科書と参考図書		
Masahiko Yamaguchi　『THE TOEIC TEST PRAINER TARGET 470』　(Cengage Learning)		
履修上の留意点・ルール		
毎授業、英語辞書を持参すること。授業開始後30分以上たつての入室は欠席扱いとする。		